

令和7年度第5回青森県特別支援学校総合スポーツ大会
ポスター原画及びスローガン受賞作品

【選考委員】

弘前大学名誉教授

岩井 康頼 氏

青森県障害者スポーツ協会理事長

高杉 勝彦 氏

青森県特別支援学校PTA連合会会長

岡田 浩介 氏

青森県特別支援学校校長会会長

柿崎 朗 氏

【ポスター原画】

最優秀賞

『ファイト！ 1位を狙え！』

青森県立青森聾学校 高等部2年
ラミレス アシュリー アルドベラ



＜作品に込めた思い＞

弟がバレーボールをやっていて、カッコいいなと思っていました。弟を応援したい気持ちで描きました。

◆選評

全員一致で最優秀作品に選ばれました。

「弟さんがバレーをやっていて格好いい、応援したいと思った」とありました。アルドベラさんの弟さんとバレーを愛していることが伝わってくる絵です。特別支援学校総合スポーツ大会としての魅力が表現されています。

いま、まさにスパイクしようとしている瞬間が、画面の対角線上いっぱいに描かれていて、画面構成に迫力があります。動きの表現が、溢れんばかりのスポーツの魅力を感じさせインパクトがあります。

画面にはレシーブする場面とブロックするかたち、あたかもバレーのコート内に入り込んでいるかのような、バレーの醍醐味を感じさせる臨場感があります。色彩においては、黄色のシャツと番号が画面の4カ所(4人)にあり絵を引き締め、手前から奥の4人までの遠近感の表現が見事に描かれています。

今にも皆、動きそうな躍動感が感じられ、スポーツ大会のポスターにふさわしい絵です。

(岩井 康頼 氏)

優秀賞

『虹の球技スポーツ』

青森県立八戸高等支援学校
高等部1年 小田 美織



<作品に込めた思い>

虹のように輝き、魂も輝かせて欲しい。

◆選評

タイトルの「虹の球技」と発想が面白い。レインボーカラーのユニホームが躍動感を醸（かも）し出しています。小田美織さんの絵を見ていると「スポーツは楽しいよ」と伝わってきます。

小田さんの作品に込めた思いは「虹のように輝き、魂も輝いてほしい」という、スポーツに託した気持ちが表現されています。

サッカー・野球・卓球とそれぞれのボールを追う視線とその瞬間の三人三様を鋭く捉え、画面構成が美しいと思います。

画面の三人のポジションとスポーツの動きがリズムカルで、音の響きが伝わってくるような表現です。色彩的には人の周りの余白のホワイトが、よりレインボーカラー色を鮮明に打ち出しています。

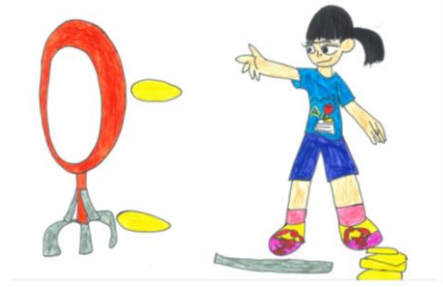
デザイナーだったら是非、ポスターにして見たいと思わせる、絵の一つだと思います。

(岩井 康頼 氏)

優秀賞

『がんばれ！わたし！！』

青森県立弘前第一養護学校
中学部 1 年 市野 未来



<作品に込めた思い>

がんばって投げました。

◆選評

「フライングディスク」はアキュラシーゴールをめがけコントロールの正確さを競う競技です。キッと見開いた目が印象的です。足を大地に踏ん張り、口を引き締め、指先に神経を集中させて「エイッ」という声が聞こえてきそうな絵です。投げた瞬間、指先にまで神経の感覚が残っているようなゲームの緊張感と面白さが漂っています。

顔の表情には、「アキュラシーゴール」をめがけディスクが通る瞬間の髪の変形に、スリルと勢いを感じます。色の配色にも創意工夫が感じられ、青のユニホームと赤の的（アキュラシーゴール）が画面の主演になっていて、絵を見る人の注意を引きつける仕掛けになっています。

画面には必要最小限のものだけが描かれ、明快な絵です。

（岩井 康頼 氏）

審査委員特別賞

『気持ちをひとつに！』

青森県立青森第二養護学校
中学部 3 年 畠山 暖生



＜作品に込めた思い＞

すべてのスポーツにリスペクトを、この作品に込めました。

◆選評

画面が7つに画面分割されていて、7場面のスポーツが描かれています。

バレーがあったり、サッカーがあったり、ボッチャがあったり、走る・飛ぶ・蹴る・打つ・投げる等、スポーツの醍醐味が全て表現されています。

今回の公募で、数多く寄せられた作品では7場面の発想の絵は1点のみです。また色も単色の黒（墨）一色、これも一枚キリです。やはり独創的な取り組みといってもいいでしょう。面白いと思います。全てのスポーツの面白さに惹かれたのでしょうか。

絵で特徴的なのは人の周り（背景）に描かれている、筆のタッチによる空気感の表現です。空気の緊張感を筆触だけで描いているところに勢い！速さ！などが感じられます。

畠山暖生さんの、作品に込めた思いは、「全てのスポーツにリスペクトを込めた」とありました。一つの種目にあえてしなかったのは、いろんなスポーツの可能性を表したかったのでしょうか。

（岩井 康頼 氏）

【スローガン】

最優秀賞

『 みんなが主役！みんなで勝ち取れ！最後の笑顔！！ 』

青森県立青森若葉養護学校
高等部1年 太田 蒼希

<作品に込めた思い>

令和7年度の特スポは、参加している学校（みんな）が主役である大会であってほしいと思った。そして、最後の笑顔をみんなで勝ち取ってほしいと思い、このスローガンにした。

◆選評

一人一人がもつ力を最大限発揮してほしいという思い、それぞれの力が重なり合ってチームとして勝利をつかみ取ってほしいという思い、そして、最後は勝ったものも負けたものもお互いを称え合いながら充実した大会にしてほしいという、まさに特別支援学校総合スポーツ大会のねらいを端的に表現した分かりやすいスローガンです。

（柿崎 朗 氏）

優秀賞

『 全力で 力の限り 突き進め 』

青森県立八戸第一養護学校
中学部3年 蛭沢 健太

<作品に込めた思い>

選手みんなに、自分の出せる力を精一杯出して頑張してほしいから。

◆選評

競技中、どんな得点差であっても、どんなにライバルと離れていても、もっている力を最後まで余すことなく発揮してほしいという思いが伝わってきます。練習を積み重ね、目標に向かって挑戦する選手たちを心の底から応援しようとする思いが、分かりやすく優しい言葉で表現されたスローガンです。

（柿崎 朗 氏）

優秀賞

『輝く汗と希望と声援！！ ぶつかれ、魂たちよ！！』

青森県立弘前第一養護学校
高等部2年 前田 奏恵

＜作品に込めた思い＞

年に一度の大きい運動会なので、みんなが精一杯練習の成果を出して、本気で競技を楽しめるような特スポになってほしいから。

◆選評

短い言葉の中にも、真剣にかつ精一杯競い合おうとする選手たちのダイナミックな姿だけでなく、必死になって応援しようとする生徒たちの姿をイメージできます。「ぶつかれ魂たちよ！！」が感動場面を最大限に引き出そうとしてくれています。まさに魂を奮い立たせてくれるような熱い思いを感じるスローガンです。

(柿崎 朗 氏)